

## 研修報告書 No.25

所 属： 昭和大学病院

氏 名： 小澤 桃子

研修先： 高北病院

私は高知県の高北病院で 1 ヶ月地域医療研修を行いました。高北病院での研修はとて  
も有意義でした。外来見学では、総合内科の外来を見学しました。総合内科の外来では高血  
圧や脂質異常症、糖尿病の患者さんを主に診察しました。普段専門外来を見学することが多  
かったので、内科に進む上で降圧薬等生活習慣病の管理について学ぶことができました。患  
者さんによってはなかなか目標の数値を達成できない方もいましたが、一人一人に合わせた  
指導法を選択していました。私も来年度より内科外来を行う際には、上級医のような外来が  
できるよう研鑽していきます。

また、公民館で行われる百歳体操というイベントにも参加しました。百歳体操では地元の  
高齢者の方々が全員で運動を行っており、運動は想像していたよりもハードで、私も息が  
上がるほどでした。また、皆さんそれぞれたわいもない話で盛り上がっているのが印象的  
でした。地域のイベントに参加することは初めてでしたが、フレイルの予防という点ではもち  
ろん、一人暮らしをしている高齢者の方にとってはコミュニケーションの場にもなってい  
ました。百歳体操で私は肺炎について地域の方々に発表しましたが、皆さん熱心に聞いてく  
ださりとても嬉しかったです。医療関係者に向けて症例発表等することはありますが、非医  
療従事者に向けてスライド発表をするのは初めてで、医療用語を使い過ぎない等注意す  
べきことが多くあり、今後患者さんと接する上で活かしていきたいです。

患者さんに行う検査も高北病院と自分の病院では違いがありました。私は普段救急外来  
でファーストタッチをする際、侵襲の少ない超音波検査やレントゲン等から行わなくては  
いけないのにも関わらず、とりあえず CT、というようにオーバートリアージをすることが  
多いです。高北病院では CT や MRI をすぐに撮るのではなく、侵襲の少ない検査を重視し  
ている印象がありました。もちろん救急外来ではオーバートリアージを推奨することもあり  
ますが、必要に応じて超音波検査やレントゲンも診断に組み込んでいけたらと思います。  
また、研修中に訪問診療や訪問看護の見学にも参加する機会があり、一人一人のことを医師  
や看護師が把握していて、なかなか病院に行けない方にとってなくてはならないものだと感  
じました。

最後に、県外の私から見た高知の地域医療の現状について考えを述べます。普段救急外来  
を担当した際、特に消化管穿孔や心筋梗塞等、緊急で手術等が必要な患者さんが搬送されて  
くることがあり、その時には専門の医師をオンコールで呼び早急に処置をします。しかし、  
高北病院では基本的に外科がなく、転院搬送となるため処置が遅くなり患者さんの命に関

わることがあります。外科の医師の数は限られており、仕方ないことではありますが地域によって医療格差がかなりあるということを実感しました。

高北病院は急性期病院では経験することのできないことを沢山学ぶことができました。お世話になった先生方、その他医療関係者の方々、地域の皆様、高知県再生機構の皆様本当にありがとうございました。